

兵庫県保険医協会北阪神支部・第9回在宅医療研究会

認知症の周辺知識

～最近の話題や睡眠機構、摂食嚥下など～

日時 **9月28日(土)** 17時～19時 **参加費無料**

会場 **伊丹シティホテル3F・光琳の間**
TEL: 072-777-1111 (下図参照、阪急伊丹駅より徒歩3分)

講師 **西宮市・つちやま内科クリニック 院長**
土山 雅人 先生

共催 **兵庫県保険医協会北阪神支部**
バルティスファーマ株式会社 ※軽食を準備しています。

一昨年、昨年の本研究会に引き続き、今年も認知症のお話をさせていただきます。今年には主にアルツハイマー型認知症に関する最近の話題を紹介するとともに、日常の問題になることの多い「睡眠」や「摂食嚥下」に関してその機序を含めて解説します。

認知症患者さんに接するには幅広い知識が役立ちます。講演では体内時計や睡眠中枢の働き、睡眠時の異常行動、嚥下障害と肺炎・窒息などにもふれる予定です。その人の脳の中でどのような認知症特有の変化が起こっているか、いろいろな角度から考えてみるきっかけとなれば幸いです。

認知症に関わる医療・看護・介護・福祉などの各職種の皆様のご参加をお待ちしています(土山記)



※阪急伊丹駅より徒歩3分、JR伊丹駅より徒歩6分。駐車場あり

※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局 (Tel 078-393-1805) 横山・小川まで

【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

在宅医療研究会(9/28)「認知症の知識」に()人参加します。

地区() 事業所・施設名()

氏名()

電話番号() FAX番号()

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2013年 8月25日号 No.229

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

審査・指導対策研究会を開催

支払基金における審査の現状とは



講師の南鉄夫氏

北阪神支部は7月25日、伊丹市立産業・情報センターで「審査・指導対策研究会」を開催。全国社会保険診療報酬支払基金労働組合・前中央執行委員長の南鉄夫氏が、「縦覧・突合点検実施後の審査の現状～支払基金における審査の現状と問題点～」と題して講演、各医療機関の医師、歯科医師、スタッフなど119名が参加した。講師の南氏は、支払基金が電子レセプト審査の際に使用するコンピューターの画面や実際の審査状況等の資料を用いながら、昨年4月から縦覧・突合点検が開始されて以降、審査の状況がどのように変化しているか、最近の査定の傾向などについて、

現場のリアルな経験

をもとに解説。また、今後の対策として「疑問のある査定には、基金に照会する」「納得のいかないものは、医療機関再審を出す」「過剰と思われる事例は症状詳記を加える」などが必要とした。参加者からは「どのように審査がされているのか、疑問に感じており大変参考になった」「基金の職員がよく勉強をしていると聞き、我々医療機関も勉強をして知識を取り込まなければと感じた」といった声が聞かれた。



研究会の様子

～核兵器のない世界めざして～

平和行進へ激励のあいさつ



伊丹市 小泉 勇

自衛隊の海外派兵反対を強く訴え求めます

私たちは、毎年核兵器廃絶を訴えて日本全国の市町村を結んで歩き続ける「国民平和大行進」です。1958年にはじまり、今年で55年目を迎えます。「核兵器のない世界の実現」「非核三原則」「戦争放棄の憲法9条の遵守」を呼びかけながら、広島・長崎をめざして行進してまいります。私たちは唯一の被爆国の責務として、悲惨で非人間的な核兵器の存在を、この人間世界に絶対に許してはならないと訴え続けてまいりました。68年前の広島・長崎の惨禍を決して忘れず、核兵器のない平和で公正な世界をつくるため、日本は世界にさきがける使命を持つものと考えます。

日本の自衛隊は、本来の職務として災害救助等、日本の国土を守ることに専心するべきであり、命を奪い、奪われることにつながる無意味な海外派兵は、平和国家日本の国際的な信頼を傷つけるだけです。若い自衛隊員のかげがえのない命を、遠い外国で危険にさらすことは、なんとしても避けねばなりません。私たちは自衛隊の海外派兵反対を、ここに強く訴え求めます。

～医師一人一人が医療制度危機の自覚を～

全国保険医団体連合会夏季セミナー参加の感想

北阪神支部支部長 中井 通治

午後2時30分伊丹発のJAL機に乗って羽田に向かった。風が強かったが、雲の形がきれいな空であった。夏季セミナーには20回以上参加している。密やかな私の夏の楽しみでもある。

基調提案は、兵庫の武村義人副理事長が、持ち時間30分で、次々とスライドを説明された。安倍政権は①憲法改悪、②アベノミクス、TPP参加、③消費税増税、④原発再稼働、を狙う。自民党の比例区の得票率は、大勝した時も、大敗した時も、ほとんど変わらない。来年4月から前期高齢者が窓口2割負担、生活保護制度改悪、高すぎる国保料、TPPでさらに、医療の営利産業化が進む。

記念講演では内橋克人氏(経済評論家)が、日本型無国籍企業、原発への警鐘、“SLOW DEATH”という概念を話された。17兆円もの復興税をすぐに被災者支援にまわせば、万事解決するとも言われた。米国の欺瞞が渦巻いている。

翌朝の小栗崇資先生(駒澤大学経済学部教授)の話によると、内部留保は人件費の抑制(労働者の犠牲)と法人税減税(国民の犠牲)から生まれる。2012年の上場企業1000社の連結利益剰余金の合計は200・4兆円もあり、それも社会的に還元することができれば、消費税を増税しなくても、雇用を活性化できる可能性があるとのことであった。

(2面のつづき)

午後のシンポジウムでは、岡田知弘氏(京都大学公共政策大学院教授)と吉原毅氏(城南信用金庫理事長)は、自分と金のことしか考えないエリートシステムが問題で、日本の地域の町の活性化を研究する方が、国民のためになるとのことであった。高本英司氏(保団連副会長)は診療所から医療を変えることができると主張された。保団連と医師会が、一緒になってTPPに必死に反対すれば、道は開ける可能性がある。

本当に政治家は誠実、叡知、愛国心を持ってほしい。ともかく、内容の濃い、医療制度の危機を医師一人一人が自覚する必要があると確信して帰路に着いた。

兵庫県保険医協会

評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

兵庫県保険医協会 理事長 池内春樹

協会規約第12条の2及び(細則)協会役員等の選出規定の第3条の2および第9条の1により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

【役職と定数】

評議員 6名

予備評議員 3名

兵庫県保険医協会規約 第18条

「評議員は、各支部または歯科部会を代表し、会員の意見を評議員会に反映するとともに、本会の方針に沿い、各支部または歯科部会の活動の中心となる。予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。」

【任期】

2年

【改選日】

10月6日(日) 北阪神支部第28回支部総会(会場・伊丹シティーホール)

【立候補日時締切】

9月29日(日) 正午 協会事務局(神戸)必着

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。

「立候補届」「推薦届」に必要な事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。